SONY

4-543-590-01(2)

デジタルHD ビデオカメラレコーダー

追加機能ハンドブック

ここでは、本機の追加機能の紹介や使いかたについて説明します。
本機の「取扱説明書」（紙）および「ハンドブック」（PDF）もあわせてお読みください。

HDR-AS100V

JP

目次

ライブストリーミング

静止画の新機能

設定一覧

新しい機能をアスタリスク(*)で示しています。
新しい機能をクリックすると、該当ページに移動します。

モード一覧

	画面表示	モード
	MOVIE	動画モード
	PHOTO	静止画モード
	INTVL	インターバル静止画記録モード
*	LIVE	ライブストリーミングモード
	VMODE	画質設定モード
	SETUP	設定モード
	PLAY	再生モード
	PwOFF	電源切

SETUPで設定できる項目

	画面表示	項目
	STEDY	手ブレ補正
	FLIP	上下反転
	SCENE	シーン
	LAPSE	インターバル静止画記録
	COLOR	カラー設定
	PRO	XAVC S™
	TC/UB	タイムコード/ユーザービット
	IR-RC	IRリモコン
*	DRIVE	静止画モード切替
*	FPS	静止画撮影間隔
*	SELF	セルフタイマー
	CONFG	環境設定

CONFGで設定できる項目

画面表示	項目
Wi-Fi	Wi-Fiリモコン
GPS	GPSログ
PLANE	飛行機モード
USBPw	USB給電
A.OFF	オートパワー OFF
BEEP	操作音
DATE	日時・エリア設定
DST	サマータイム設定
LANG	言語設定
V.SYS	NTSC/PAL切り換え
RESET	設定値リセット
FORMT	フォーマット

ご注意

- 本機では英語、フランス語、ブラジルポルトガル語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

ライブストリーミング

ライブストリーミングとは

本機とテザリング可能なスマートフォンあるいはWi-Fiルーターを使うことで、USTREAMなどの動画共有サイトに映像のライブ配信を行うことです。
映像のライブ配信スタート時に、あらかじめ設定したSNS（Facebook、Twitterなど）へ配信開始のメッセージを送ることもできます*。

* ライブ配信サイトやSNSのユーザー登録が必要です。

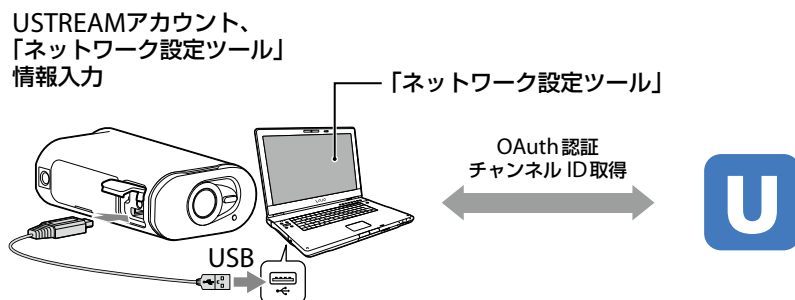
ライブストリーミングを行うためには以下の準備が必要です。

本機のライブストリーミング設定では以下の配信設定を行います。

- USTREMへのユーザー登録
- 本機がWi-Fi接続可能なスマートフォン(テザリング)、あるいはWi-Fiネットワーク環境

* スマートフォンのテザリング設定やWi-Fiネットワークの設定については、スマートフォンやネットワーク設定の取扱説明書をご確認ください。ネットワーク環境について、より詳しいお問い合わせは各サービス提供元へご確認ください。

ライブストリーミングの準備

あらかじめ、専用アプリケーション「ネットワーク設定ツール」でネットワーク設定、動画配信サイトのアカウント登録やSNSの設定をしてください。
「ネットワーク設定ツール」は、下記のサイトよりダウンロードしてください。
http://www.sony.net/nst/

ネットワーク設定でできること

本機のライブストリーミング設定では以下の配信設定を行います。

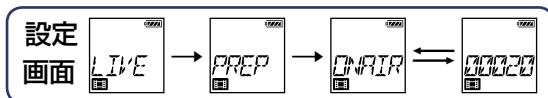
- ネットワーク設定
  カメラが接続するWi-Fiネットワークを設定します。
  - ネットワークSSID、パスワード
- ストリーミング設定
  動画の配信方法を設定します。
  - 配信先、チャンネル、画質、配信先での保存設定
  - 配信動画のタイトル、説明
- SNS設定
  ソーシャルネットワークと連携し、動画配信開始時に、コメントを投稿することができます。
  - Twitter、Facebookの接続設定
  - 投稿するコメント

USTREAMについて

本機のライブストリーミング機能で、動画配信・視聴できる動画共有サイトです。
詳しくはUSTREAMのサイトをご覧ください。
http://www.ustream.tv/

ご注意

- 本機には、お客様の個人情報（USTREAM、Twitter、Facebookへのログイン時に必要な情報）が設定されます。本機を譲渡、処分する場合は、本機のリセットを必ず行ってください。

ライブストリーミングの実行

ライブストリーミングの準備が整ったら、ライブ配信を開始できます。
ライブ配信を初めて行う場合は、あらかじめパソコンで事前設定を行ったあと、環境が整った状態で配信リハーサルを行うことをおすすめします。

1 NEXTボタンを押して[LIVE]を表示させる

2 RECボタンを押して配信を開始する

配信準備中の表示[PREP]から配信中の表示[ONAIR]へ変わり、本機上面のRECランプ（7ページ）が赤色に点灯します。

3 配信を停止するには、もう一度RECボタンを押す

本機のメモリカードについて

ライブ配信中の動画は、本機のメモリカードに記録することができます。メモリカードを挿入している場合は、配信と同時に動画記録されます*。
メモリカードの容量がいっぱいになった場合は、配信を止めずに自動的に動画記録のみを停止します。
本機にメモリカードが挿入されていない場合は、動画配信のみ行います。
* 同時記録される動画はMP4/HQモードとなります。

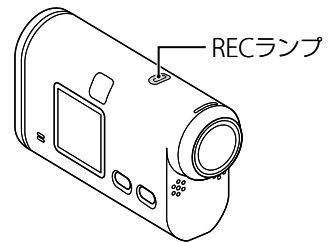
ライブ配信中の画面表示

画面表示	配信状況
PREP	ネットワーク配信サイト接続準備中
ONAIR	配信開始
00020	視聴者数を表示

ご注意

- 本機でのライブ配信開始から、実際に動画配信サイトで配信開始されるまでに、10 ～ 20秒の時間差が生じることがあります。

ライブ配信中のRECランプ表示

ライブストリーミングモードを選択した場合に、本機のRECランプでライブストリーミングの配信状況が分かります。

表示	状態	配信状況
	消灯	配信前
	点灯	配信中
	遅い点滅 （1秒間に約1回の点滅）	視聴者あり
	早い点滅 （1秒間に約3回の高速点滅）	配信エラー

制限事項

USTREAM制限

USTREAMでの動画配信については、USTREAM側での制限事項があります。詳しくはUSTREAMのサイトにてご確認ください。

配信中のGPSおよびWi-Fi機能

ライブ配信中はGPS機能は自動的にOFFになります。
また、ライブ配信中のスマートフォンやライブビューリモートによるモニタリングはできません。

ネットワーク接続

ライブストリーミングは、テザリング可能なスマートフォンやWi-Fiルーターなどをご利用ください。ただし、全ての機器の動作を保証するものではありません。公衆無線LANでの接続はできません。

複数台による同時ライブストリーミング

複数台（2台以上）で、同一アカウントでの同時ライブ配信はできません。別アカウントでの接続が必要になります。

回線状態による影響

スマートフォンやWi-Fiルーターのテザリング時に、回線状況によっては映像や音声が途切れたり、通信が切断される場合があります。

ライブ配信の接続について

ライブ配信は、お客様のスマートフォンやWi-Fiルーターなどの契約に基づいて、通信時間に制限がありますので、ご利用前にご確認ください。

連続配信時間

本機を使って連続してライブストリーミングできる時間は、約13時間に制限されています。

接続制限

国によっては、ライブ配信サイトへ接続できないことがあります。その国の法律に合わせてご使用ください。

エラーメッセージ一覧

ライブ配信接続時に、不具合がある場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。
表示に合わせて対処を試みてください。

設定

NoSET

「ネットワーク設定ツール」を使って、USTREAMに必要な設定をしてください。

Auth

「ネットワーク設定ツール」を使って、USTREAMへ再度ログインし、設定を確認してください。

CHANL

- 「ネットワーク設定ツール」で設定したチャンネルが誤っています。
- 本機から配信中のチャンネルに対して別の場所から配信を開始した際にも表示される場合があります。
- 再度設定してください。

DATE

本機で日付/時刻を設定し直してください。

APErr

アクセスポイントを発見したが、接続されていません。
アクセスポイントのパスワードを確認してから再度接続してください。

ネットワーク

PREP

一時的にネットワークにつながらない。

Netwk

- USTREAMへの動画の保存設定がネットワークの不調で完了できなかった。
- その他のネットワークエラー。
- 「ネットワーク設定ツール」でアクセスポイントの設定や、アクセスポイントのセキュリティ設定等ご確認ください。

NO AP

アクセスポイントを発見できなかった。「ネットワーク設定ツール」でアクセスポイントの設定をご確認ください。

ネットワークサービス

ERROR

USTREAMサービス側の不明なエラー。時間をおいて再度接続確認を行ってみてください。

LIMIT

USTREAM上で保存できる動画の時間が上限に達した場合、一度配信を終了してください。

TWErr

Twitter投稿エラー。
ネットワークを調べてください。または、Twitterに再度ログインしてください。

FBErr

Facebook投稿エラー。
ネットワークを調べてください。または、Facebookに再度ログインしてください。

本機

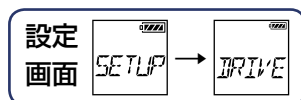
ERROR

電源を入れ直してください。

HEAT

- 本機の温度が上がっています。自動的に電源が切れる場合と、撮影ができなくなる場合があります。本機の温度が下がるまで涼しいところに置いてください。
- 長時間撮影し、本機の温度が上がっています。撮影を終了してください。

静止画の新機能

静止画モード切替

静止画記録のモードを設定することができます。
設定は、[SETUP]から行います。

1 NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す

2 NEXTボタンを押して[DRIVE]を表示させ、ENTERボタンを押す

3 NEXTボタンを押して好みの設定を選び、ENTERボタンを押す

✓	SINGL	シングルショット：(画サイズ・13.5M) 静止画1枚撮影
	BURST	高速連写：(画サイズ・13.5M) 静止画撮影間隔[FPS]で設定された連続撮影の間隔で連写を行います
	MSHOT	モーションショットLE：(画サイズ・3.3M) 静止画撮影間隔[FPS]で設定された間隔で連写した静止画から1枚の自動合成静止画を生成します

モーションショットLE撮影をうまく行うには

以下の撮影方法を試してください。

- 手振れしないようにカメラを固定します。
- 手振れを抑えるためにスマートフォンやライブビューリモートなどのリモコン操作やセルフタイマー機能を組み合わせるとさらに良い結果を得られます。
- 被写体の中の動くものが大き過ぎたり多過ぎたりしないようにしてください。
- できるだけ明るい場所で撮影し、明るさの変化がないようにしてください。

高速連写をうまく行うには

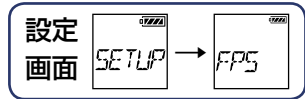
以下の撮影方法を試してください。

- 手振れしないようにカメラを固定します。
- 手振れを抑えるためにスマートフォンやライブビューリモートなどのリモコン操作やセルフタイマー機能を組み合わせるとさらに良い結果を得られます。

ご注意

- モーションショットLEの合成に失敗したときは、[FAIL]と表示されます。[FAIL]が表示されるタイミングによっては、画像が保存されないことがあります。
- 高速連写/モーションショットLEともに撮影後から次の操作までに操作できない処理時間があります。
- スマートフォン側に転送される静止画は一枚のみです。高速連写の場合は最後の一枚、モーションショットLEの場合は合成画になります。

静止画撮影間隔

設定画面 SETUP → FPS

高速連写、モーションショットLE撮影時の連写設定を行います。
設定は、[SETUP]から行います。

1 NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す

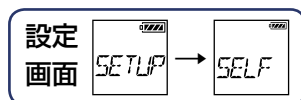
2 NEXTボタンを押して[FPS]を表示させ、ENTERボタンを押す

3 NEXTボタンを押して好みの設定を選び、ENTERボタンを押す

✓	10f1s	1秒間に10枚の静止画撮影 （比較的速い動きの物体を撮影に適します）
	5f2s	2秒間に10枚の静止画撮影 （人物のアクションの撮影に適します）
	2f5s	5秒間に10枚の静止画撮影 （比較的ゆっくりした動きの撮影に適します）

ご注意

• [10f1s]、[5f2s]、[2f5s]は最大速度の目安です。撮影条件によって、最大速度にならないことがあります。

セルフタイマー

静止画撮影時のセルフタイマーを設定することができます。すべての静止画モードでセルフタイマーを適用することができます。
設定は、[SETUP]から行います。

1 NEXTボタンを押して[SETUP]を表示させ、ENTERボタンを押す

2 NEXTボタンを押して[SELF]を表示させ、ENTERボタンを押す

3 NEXTボタンを押して好みの設定を選び、ENTERボタンを押す

✓	OFF	セルフタイマーを使わない
	2sec	セルフタイマー 2秒後に撮影が開始される
	10sec	セルフタイマー 10秒後に撮影が開始される

ご注意

- セルフタイマーは撮影後に[OFF]に戻りません。

静止画の撮影可能枚数の目安

（単位：枚）

	8GB	16GB	32GB	64GB
2M（インターバル静止画記録）（16:9）	7700	15500	31000	40000
3.3M（モーションショットLE）	5100	10000	20500	39000
13.5M（静止画）	1450	3000	6000	12000

- ソニー製メモリーカード使用時。
- メモリーカードの撮影可能枚数は本機での最大の画像サイズの枚数のみ記載しています。実際の撮影可能枚数については、撮影中の液晶モニター上でご確認ください。
- メモリーカードの撮影可能枚数は、撮影環境によって異なる場合があります。